

# **多賀城市 市民意向調査**

## **—結果報告—**

**平成23年8月**

**多 賀 城 市**



## 市民アンケート調査

### 調査の目的

多賀城市では、すべての市民の皆さま方が、今回の大震災から1日も早く再建し、安全で安心して暮らせる、そして、笑顔に暮らせるまちとして復興するよう、これからの取組を計画的に行う上で「復興計画」（10年計画）を策定することとしており、市民の皆さまのお考えを十分に踏まえた復興計画を策定するために調査を行った。

配布開始日：平成23年7月29日

回収締切日：平成23年8月8日（締切日以降も回収を含む。）

被災者アンケート総配布数：2,000世帯

回収された票数：874世帯（回収率：43.7%）

### アンケート調査結果

#### 1. 回答者の性別（無回答：9世帯）

□男性：約77%（675世帯） 女性：約22%（190世帯）

#### 2. 回答者の年齢

□回答者年齢：「60歳代」が約28%、「50歳代」が約23%、「40歳代」が約17%

#### 3. 被災前のお住まい

□被災前の住まい：「一戸建て（持家）」が約58%、「共同住宅（アパート・賃貸マンション）」が約19%

#### 4. 被災状況

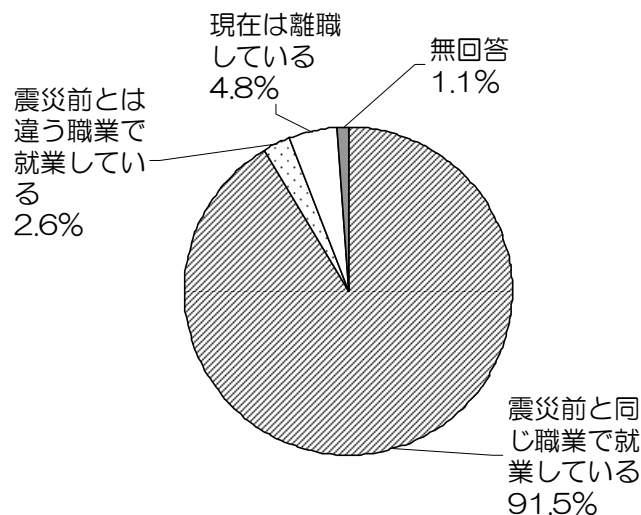
□被災状況：「一部損壊」が約56%、「被害なし」が約29%

#### 5. 震災前の職業

□震災前の職業：「会社員・公務員」が約52%、「無職（学生、専業主婦含む）」が約22%、「自営業・会社役員」が約12%、「パートタイマー・アルバイト」が約8%

#### 6. 現在の就業状況

「現在の就業状況について」との設定で、「震災前と同じ職業で就業している」が91.5%（572世帯）、「震災前とは違う職業で就業している」が2.6%（16世帯）、「現在は離職している」が4.8%（30世帯）という結果になっている。



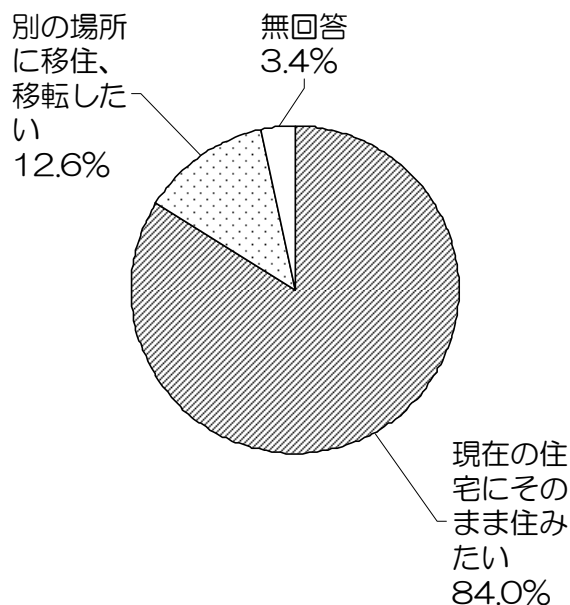
## 7. 今後の居住状況

### (1) 将来の居住意向

#### ①約84%の世帯が「現在の住宅にそのまま住みたい」を希望

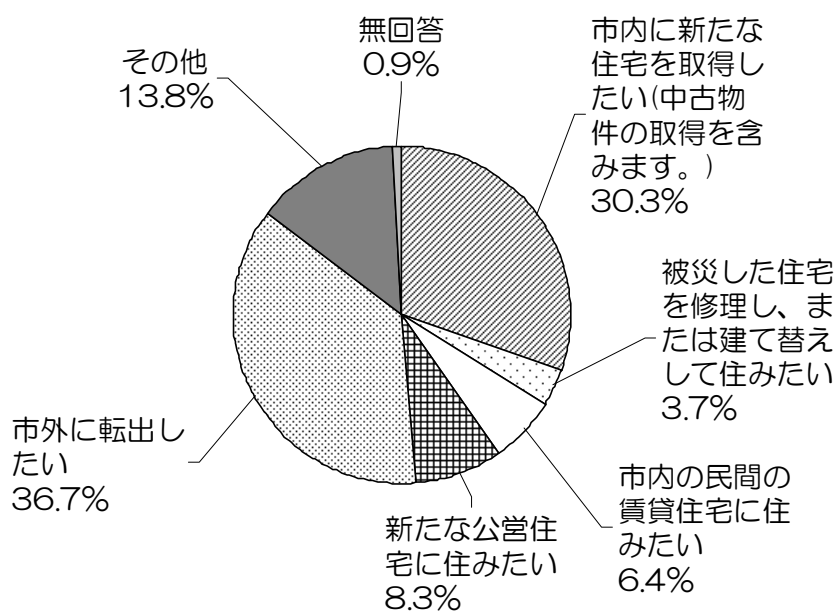
□「今後の居住意向についてお聞かせください」との設問に、「現在の住宅にそのまま住みたい」と回答された世帯は84.0%（733世帯）となっている。

一方、「別の場所に移住、移転したい」と回答された世帯は、12.6%（110世帯）となっている。



#### ②移住・移転希望者のうち、約37%の世帯が「市外に転出」を希望

「今後の居住意向についてお聞かせください」との設問で、「別の場所に移住、移転したい」と回答された世帯のうち、「市外に転出したい」と回答された世帯が36.7%（40世帯）、「市内に新たな住宅を取得したい(中古物件の取得を含みます。)」と回答された世帯が30.3%（33世帯）となっている。また、「新たな公営住宅に住みたい」と回答された世帯が8.3%（9世帯）となっている。



**③住居所有（持家一戸建て、分譲マンション等）のうち8割以上の世帯が、「現在の住宅にそのまま住みたい」あるいは「被災住宅の修理、建替え」など現地再建を希望**

□一戸建て持家、分譲マンション等の住居を所有している世帯ほど、現地再建意向の割合が高い。一戸建て（持家）の場合は92.3%、共同住宅（分譲マンション）の場合は83.7%。

□一方、一戸建て借家、アパート等の賃貸住宅の世帯では、移転希望割合（市外転出も含む）が比較的高い。一戸建て（借家）の場合は、27.0%、共同住宅（アパート、賃貸マンション）の場合は、23.2%。

今後の居留意向	一戸建て （持家）	共同住宅(分 譲マンション)	一戸建て （借家）	共同住宅(アパー ト、賃貸マンション)	市・県営 住宅	社宅な ど	その他	無回答	総計
被災地に住む意向(被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい。)	467 92.3%	77 83.7%	24 64.9%	118 70.2%	17 77.3%	26 68.4%	9 90.0%	0 0.0%	738 84.4%
市内の他地域に住む意向(新たな住宅取得、市内の賃貸、新たな公営住宅)	12 2.4%	1 1.1%	7 18.9%	25 14.9%	1 4.5%	3 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	49 5.6%
市外に住む意向(市外に転出したい。)	5 1.0%	10 10.9%	3 8.1%	14 8.3%	0 0.0%	7 18.4%	1 10.0%	0 0.0%	40 4.6%
その他	2 0.4%	2 2.2%	0 0.0%	8 4.8%	1 4.5%	2 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 1.7%
無回答	20 4.0%	2 2.2%	3 8.1%	3 1.8%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	32 3.7%
総計	506 100.0%	92 100.0%	37 100.0%	168 100.0%	22 100.0%	38 100.0%	10 100.0%	3 100.0%	874 100.0%

## 8. 今後の防災対策に対する意向結果






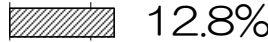





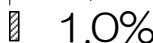
①ハード的な対策として、約58%の世帯が「防災広報無線の充実」を希望

②ソフト的な対策として、約28%の世帯が「防災への備えの意識を高める」を希望

「今後のまちづくりについてお聞かせください」との設問で、ハード的な対策については、「防災広報装置の充実」が58.0%（507世帯）、「津波から避難できる高さのある建物の確保」が37.1%（324世帯）、「防潮林・防潮堤などの津波対策の整備」が31.2%（273世帯）の世帯が、それぞれ必要性・重要性を示している。

また、ソフト的な対策については、「防災への備えの意識を高める」が27.9%（244世帯）、「被災経験の伝承」が20.9%（183世帯）の世帯が、それぞれ何らかの対策を講じることを希望している。

### ○今後の防災対策に対する意向結果

選択肢		世帯	比率	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
ハード整備	防災広報装置の充実	507	58.0%								
	津波から避難できる高さのある建物の確保	324	37.1%								
	防潮林・防潮堤などの津波対策の整備	273	31.2%								
	大雨に対する対策の充実(雨水排水機能の充実)	264	30.2%								
	避難路の整備	256	29.3%								
	市内の津波被害のあっていない地域にまちをつくる	112	12.8%								
ソフト整備	防災への備えの意識を高める	244	27.9%								
	被災経験の伝承	183	20.9%								
	地域や近所とのつながり(コミュニケーション)強化	169	19.3%								
	家屋の耐震対策	163	18.6%								
その他	49	5.6%									
無回答	9	1.0%									
計	2,553										

※本設問は、複数回答。

## 9. 自然災害に対応したまちづくりへのアイデア

カテゴリー(編集)	アイデア	件数
① 避難路の整備	1. 都市計画道路の整備	11
	2. 川をわたるための道路整備(架橋)	0
	3. 道路・鉄道の高上げ(防潮堤機能)	12
	4. 道路に避難誘導案内板等を設置	6
	5. 避難路の整備 全般	15
② 津波対策の整備	1. 防潮堤・防潮林(緩衝緑地帯)の整備	29
	2. 市で高台の空地を確保する	0
	3. 海の近くに高台を作る(公園)	2
	4. 津波対策の整備 全般	6
③ 建物の整備	1. 高い堅牢な建物・屋上等に駐車場を整備	26
	2. (地下)シェルターの整備・防災センターの整備	3
	3. 市営住宅(中・高層集合住宅)の建設	7
	4. 建物の整備 全般	3
④ 今後のまちづくり	1. 被災地区を高台等に集団移転(住宅地・保育園・小中高校等)、居住制限	14
	2. 浸水した土地の嵩上げ	0
	3. 被災地区では高床式の建物にする(1Fには居住しない)	1
	4. 専門家の意見を取り入れる	4
	5. 災害に強いインフラ(ライフライン)の整備	22
	6. 緑(自然)豊かなまちづくり	8
	7. 今後のまちづくり 全般	43
⑤ 防災広報の充実	1. 防災広報装置の充実(サイレン・自家発電)	91
	2. 広報車による広報の改善	31
	3. 新たな伝達手段(半鐘・ドラ・ラジオ・ヘリコプター他)	17
	4. 防災広報の充実 全般	8
⑥ 家屋の耐震対策	1. 家屋の耐震対策 全般	18
⑦ 大雨に対する対策	1. 砂押川の整備(堤防の整備・浚渫・船の係留など)	27
	2. 貞山堀の整備(堤防の整備・船の係留など)	1
	3. 排水機能の強化(ポンプ・水門管理・側溝整備)	14
	4. 運河・堀の埋立(蓋をする)	0
	5. 七北田川の整備	5
	6. 大雨に対する対策 全般	4
⑧ 地域や近所とのつながり	1. 避難時の声かけ・避難の確認	3
	2. 避難困難世帯(老人等弱者)への対応	13
	3. 自衛隊との連携	1
	4. 自主防災組織	5
	5. 地域や近所とのつながり 全般	13
⑨ 防災への意識	1. 防災計画(計画見直し・防災マニュアルの作成・避難所及び避難経路の周知・海拔の表示・震度計の設置場所の見直し)	44
	2. 防災教育・防災訓練(イベント化)	26
	3. 各家庭での備え(食料・水・ソーラーシステム・車にライフジャケット・自宅の高さ確認・家具の転倒防止・話し合い)	8
	4. 防災への意識 全般	5
⑩ 被災経験	1. 被災経験の伝承(水位看板の設置・津波マップ・写真集)	20
	2. 被災経験を生かした対策(アンケートの公表)	11
	3. 防災の日(3/11)の設定・慰霊塔	3
	4. 被災経験 全般	0
⑪ 避難所の整備	1. 避難所の備蓄(水・食料・ローソク・医薬品・毛布等)・設備の充実(トイレ・井戸・通信手段・発電機・ボートなど)	66
	2. 大規模工場やマンション等の高層建物を一時避難場所に指定	6
	3. 避難場所の再検討(安全な場所・安全な建物・近い・分かりやすい表示・歩道橋)	47
	4. 避難所の整備 全般	0
⑫ その他	1. 被災後の情報提供	42
	2. 震災後の的確な対応(補償・支援制度の確立・迅速な手続き)	11
	3. 気持ちの持ち方・人間づくり	4
	4. 企業への指導・働きかけ	17

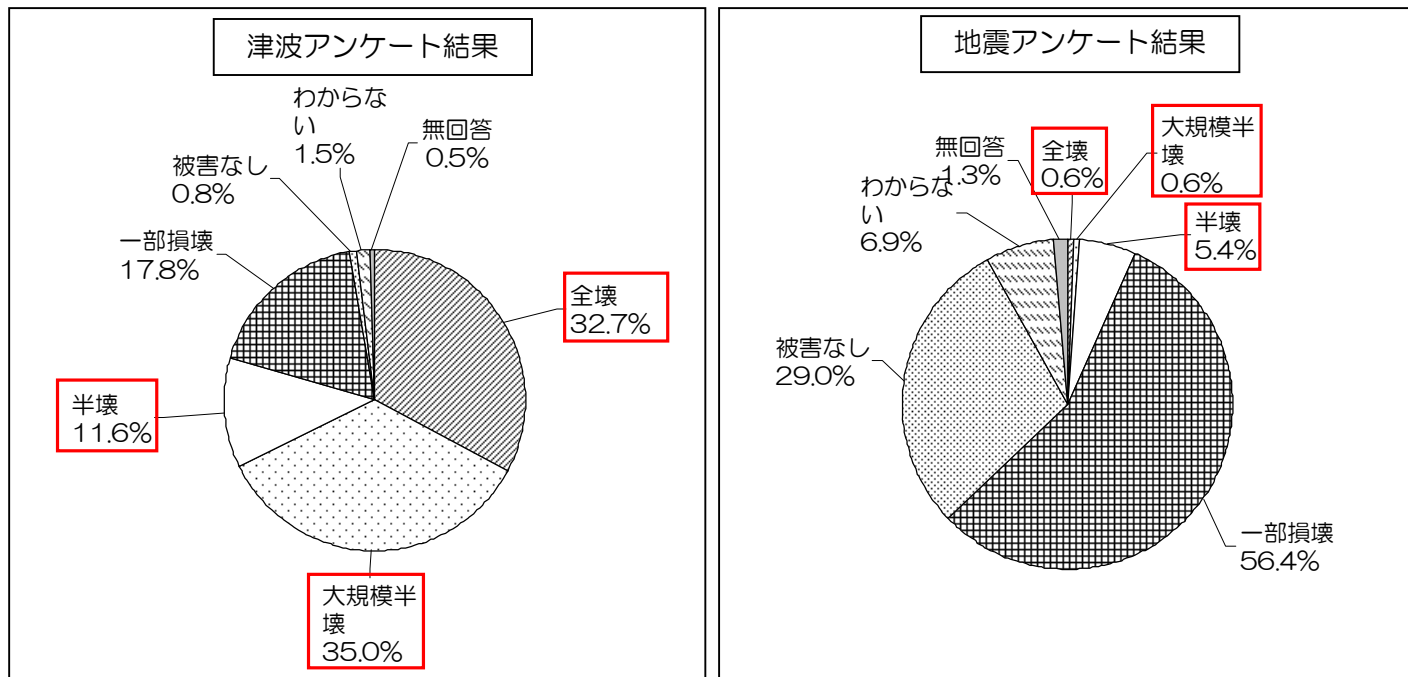
※1人の方が様々な意見を言っているため、分類は複数回答となっています。

## 10. 被災者アンケート結果との比較

津波被災エリアの居住者を対象とした「被災者アンケート」の結果とそれ以外の地域の居住者を対象とした「市民アンケート」の結果について比較する。

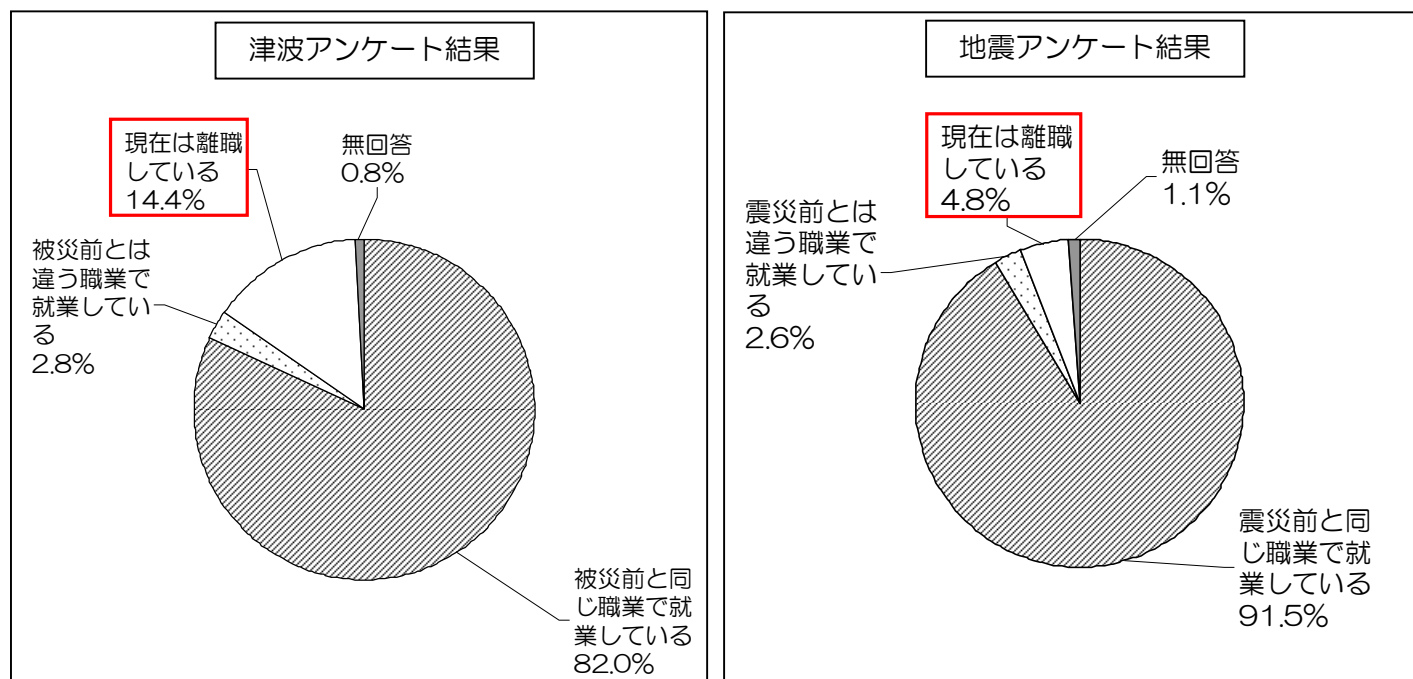
### (1) 震災による住まいの被害状況

被災者アンケート結果では、全壊、大規模半壊、半壊を合わせると住居被害は約79%にのぼるが、市民アンケート結果では約7%程度と被害の差が大きい。



### (2) 現在の就業状況

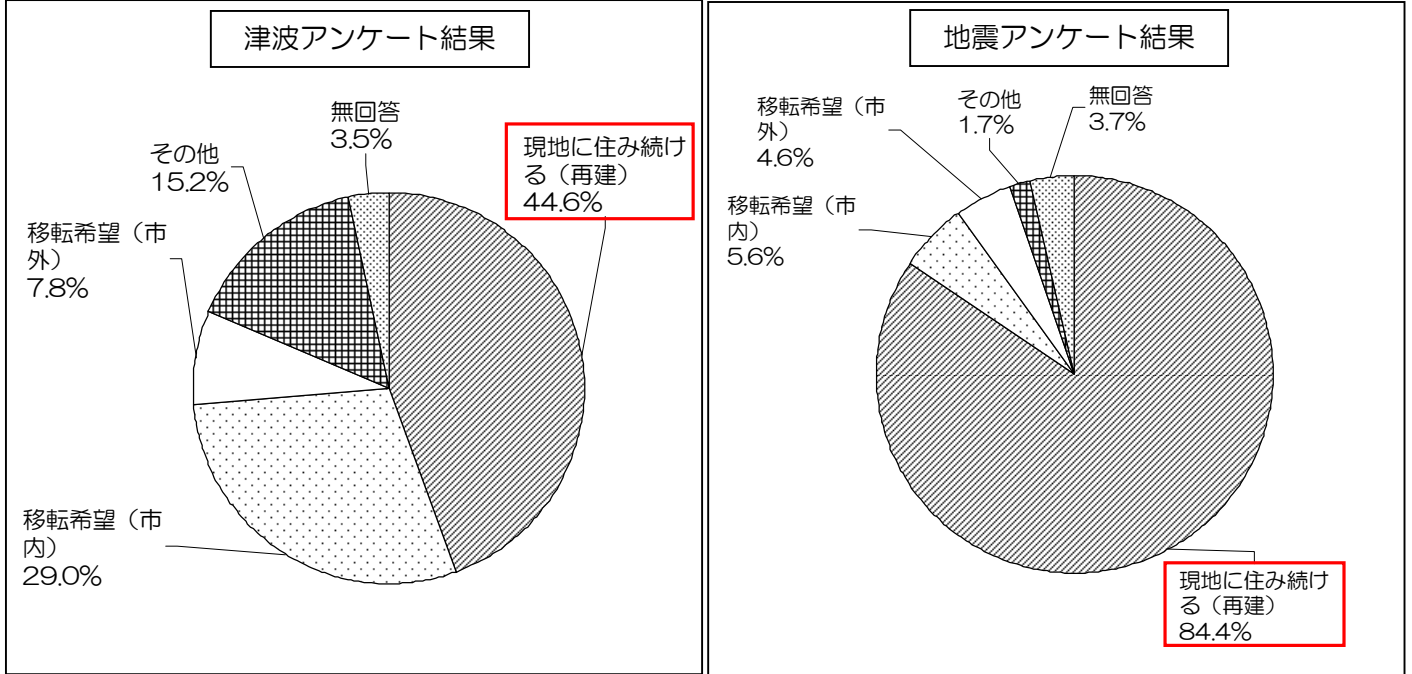
被災者アンケート結果では、「現在は離職している」と回答された世帯が約10ポイント程度市民アンケート結果を上回っている。





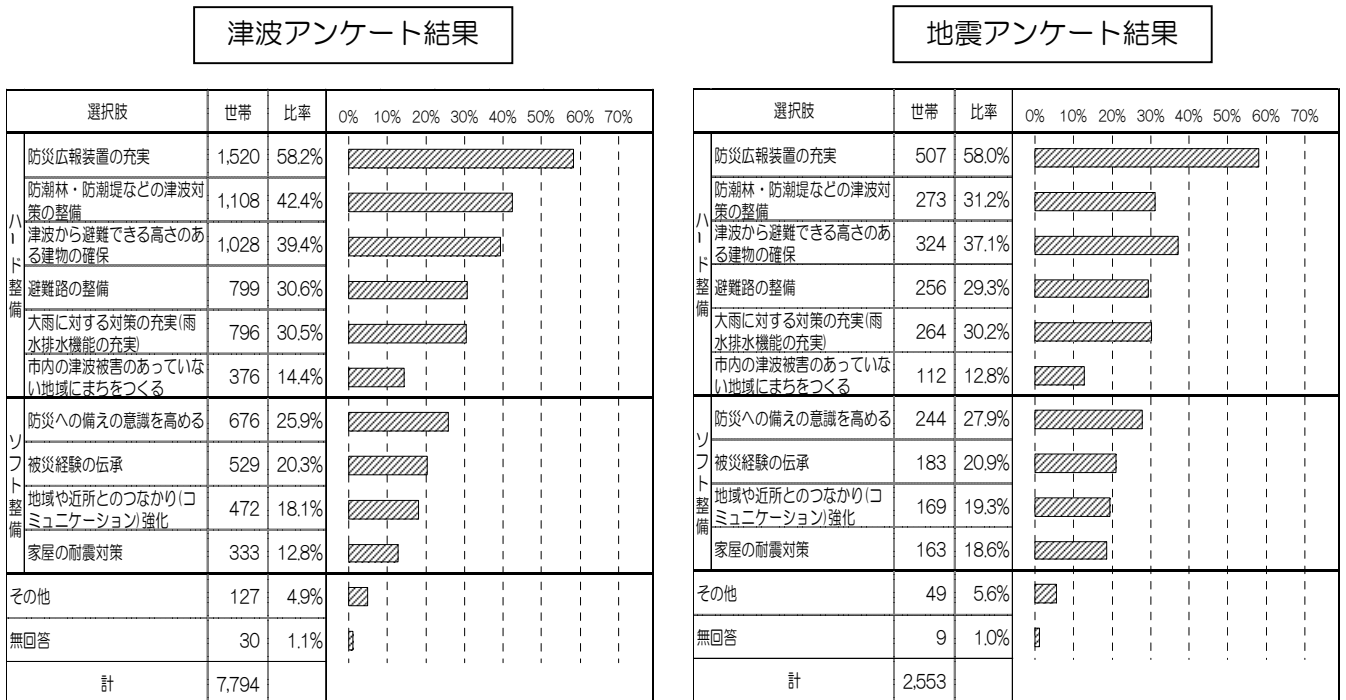
### (3) 将来の居留意向

将来の居留意向について、現地再建意向は被災者アンケートが約45%に対し、市民アンケートが約84%となっており、逆に移転希望(市内外)は被災者アンケートが約37%に対し、市民アンケートが約10%となっている。



### (4) 今後のまちづくり(自然災害への対策強化)

今後、災害に強いまちづくりのために、必要な取組みについては、被災者アンケート、市民アンケートいずれも類似傾向を示しており、特に「防災広報装置の充実」が重要とする意見が多数を占めている。





市民アンケート調査 全体(回答世帯数 : 874 世帯)



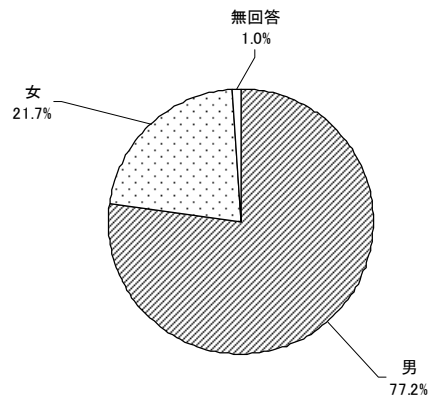
**設問1 あなた自身(主に生計を支えている方)に関することについてお聞かせください。**

①お住まいになっている地区について、該当する番号に○をつけてください。

選択肢	件数	比率	0%	5%	10%	15%
1. 新田	70	8.0%		8.0%		
2. 高橋	86	9.8%		9.8%		
3. 山王	59	6.8%		6.8%		
4. 南宮	13	1.5%		1.5%		
5. 市川	3	0.3%		0.3%		
6. 浮島	51	5.8%		5.8%		
7. 城南	34	3.9%		3.9%		
8. 高崎	84	9.6%		9.6%		
9. 東田中	71	8.1%		8.1%		
10. 中央	55	6.3%		6.3%		
11. 留ヶ谷	47	5.4%		5.4%		
12. 伝上山	67	7.7%		7.7%		
13. 鶴ヶ谷	12	1.4%		1.4%		
14. 丸山	34	3.9%		3.9%		
15. 下馬	59	6.8%		6.8%		
16. 笠神	66	7.6%		7.6%		
17. 大代	52	5.9%		5.9%		
18. 桜木	0	0.0%	0.0%			
19. 栄	0	0.0%	0.0%			
20. 明月	0	0.0%	0.0%			
21. 宮内	0	0.0%	0.0%			
22. 八幡	10	1.1%		1.1%		
23. 町前	0	0.0%	0.0%			
無回答	1	0.1%	0.1%			
計	874	100.0%				

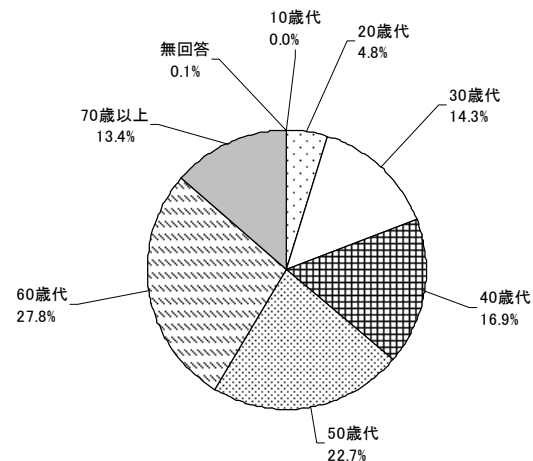
②性別について、該当する番号に○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 男	675	77.2%
2. 女	190	21.7%
無回答	9	1.0%
計	874	100.0%



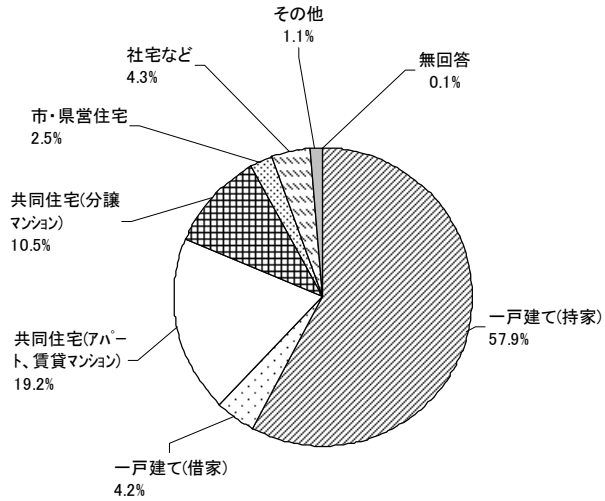
③年齢について、該当する番号に○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 10歳代	0	0.0%
2. 20歳代	42	4.8%
3. 30歳代	125	14.3%
4. 40歳代	148	16.9%
5. 50歳代	198	22.7%
6. 60歳代	243	27.8%
7. 70歳以上	117	13.4%
無回答	1	0.1%
計	874	100.0%



④震災発生時点のお住まいについて、該当する番号に○を1つつけてください。

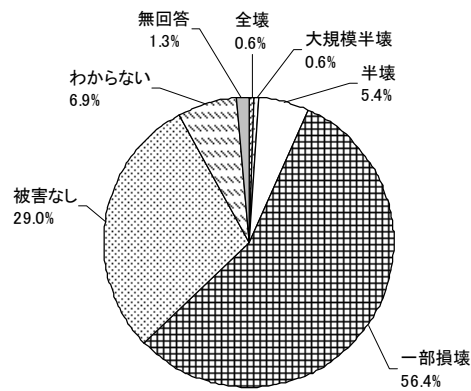
選択肢	件数	比率
1. 一戸建て(持家)	506	57.9%
2. 一戸建て(借家)	37	4.2%
3. 共同住宅(アパート、賃貸マンション)	168	19.2%
4. 共同住宅(分譲マンション)	92	10.5%
5. 市・県営住宅	22	2.5%
6. 社宅など	38	4.3%
7. その他	10	1.1%
無回答	1	0.1%
計	874	100.0%



⑤震災によるお住まいの被害状況(り災証明をご確認ください。)について、該当する番号に○を1つつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 全壊	5	0.6%
2. 大規模半壊	5	0.6%
3. 半壊	47	5.4%
4. 一部損壊	492	56.4%
5. 被害なし	253	29.0%
6. わからない	60	6.9%
無回答	11	1.3%
計	873	100.0%

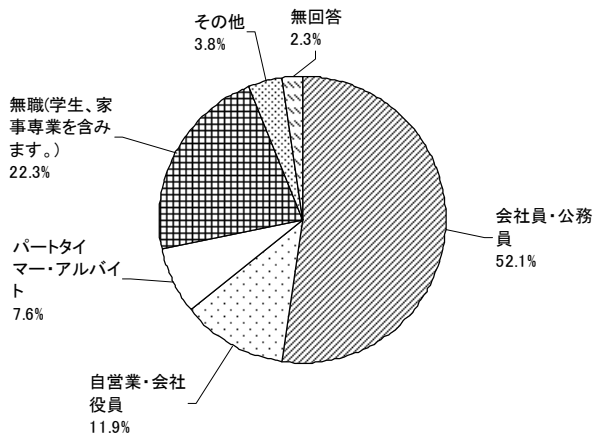
複数回答による集計除外1人



⑥震災前のご職業について、該当する番号に○を1つつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 会社員・公務員	455	52.1%
2. 自営業・会社役員	104	11.9%
3. パートタイマー・アルバイト	66	7.6%
4. 無職(学生、家事専業を含みます。)	195	22.3%
5. その他	33	3.8%
無回答	20	2.3%
計	873	100.0%

複数回答による集計除外1人

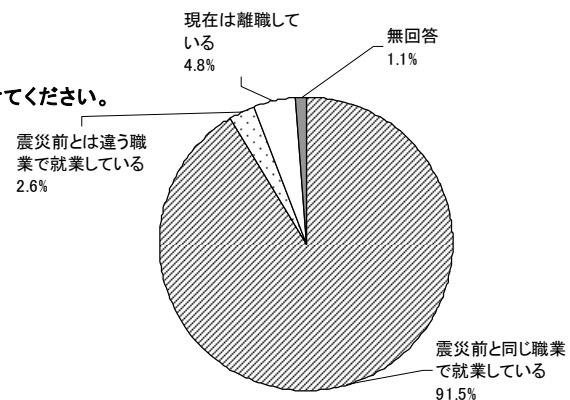


⑦「⑥」で1～3と回答された方にお伺いいたします。

625 人

現在の就業状況について、該当する番号に○を1つつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 震災前と同じ職業で就業している	572	91.5%
2. 震災前とは違う職業で就業している	16	2.6%
3. 現在は離職している	30	4.8%
無回答	7	1.1%
計	625	100.0%

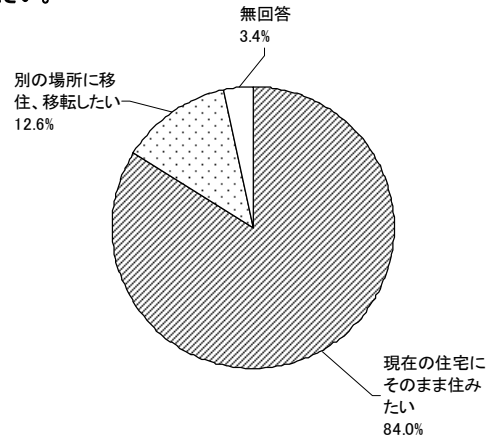


## 設問2 今後の居住意向についてお聞かせください

① 将来の居住意向について、該当する番号に○を1つつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 現在の住宅にそのまま住みたい	733	84.0%
2. 別の場所に移住、移転したい	110	12.6%
無回答	30	3.4%
計	873	100.0%

複数回答による集計除外1人



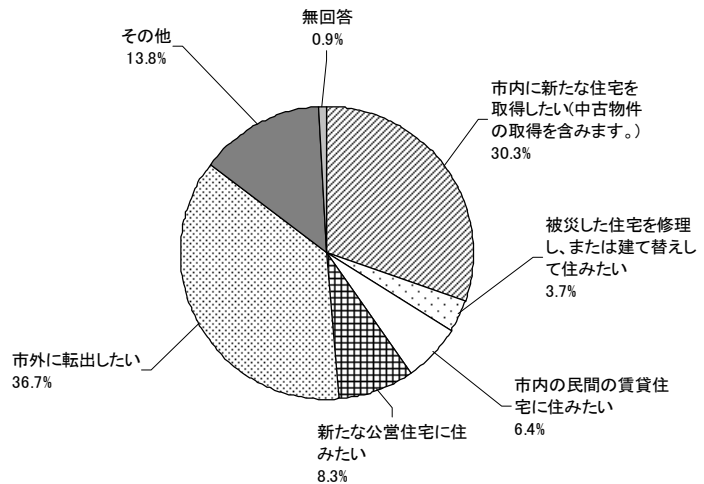
② 「①」で2と回答された方にお伺いいたします。

110 人

将来の居住場所に関する意向について、該当する番号に○を1つつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 市内に新たな住宅を取得したい(中古物件の取得を含みます。)	33	30.3%
2. 被災した住宅を修理し、または建て替えて住みたい	4	3.7%
3. 市内の民間の賃貸住宅に住みたい	7	6.4%
4. 新たな公営住宅に住みたい	9	8.3%
5. 市外に転出したい	40	36.7%
6. 会社が準備する新たな社宅に住みたい	0	0.0%
7. その他	15	13.8%
無回答	1	0.9%
計	109	100.0%

複数回答による集計除外1人



### 設問3 今後のまちづくりについてお聞かせください

本市では、今回のような自然災害への対策強化が不可欠と考えますが、あなたが重要と考える取組について、該当する項目に○を3つまでつけてください。

選択肢	件数	比率	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
避難路の整備	256	29.3%				29.3%				
防潮林・防潮堤などの津波対策の整備	273	31.2%				31.2%				
津波から避難できる高さのある建物の確保	324	37.1%				37.1%				
市内の津波被害のあっていない地域にまちをつくる	112	12.8%		12.8%						
防災広報装置の充実	507	58.0%						58.0%		
家屋の耐震対策	163	18.6%		18.6%						
大雨に対する対策の充実(雨水排水機能の充実)	264	30.2%				30.2%				
地域や近所とのつながり(コミュニケーション)強化	169	19.3%			19.3%					
防災への備えの意識を高める	244	27.9%				27.9%				
被災経験の伝承	183	20.9%			20.9%					
その他	49	5.6%		5.6%						
無回答	9	1.0%	1.0%							
計	2,553									